
「スペクトル型セルアナライザーにおけるヒト・免疫フェノタイピング多色解析パネルの構築」に関するお知らせ

このたび、当院で研究を行った患者さんの試料・情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院研究倫理委員会・審査試験番号；

総 2022-094：筋炎関連疾患における病態解明並びに自己寛容の維持機構や炎症収束・修復再生機構の解明；

2023 年 01 月 12 日から、本研究の病院長の許可前日までの期間に研究に参加された方を対象としております。

2. 研究の目的

本研究の目的は、末梢血から採取した免疫細胞をソニー株式会社の最新型フローサイトメーター「ID7000」で免疫細胞を効率的に解析する新たな手法を開発することです。これにより、各個人において免疫細胞の動態が簡単にわかるようになり、個別化医療の推進に役立ちます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 1 月 8 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療録にある検査情報、診療記録

※この研究で得られた患者さんの試料・情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である酒井亮太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

多発性筋炎・皮膚筋炎・混合性結合組織病・血管炎症候群と診断された患者さんの病理組織学的検査および血液検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。また、過去当科での研究に参加された健常人の方に検査を実施した際に生じた残余検体を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 酒井亮太（研究代表者）
- ・ ソニー株式会社 ライフサイエンス&テクノロジー事業部 ライフサイエンス事業部門 ライフサイエンス営業部 学術課 石原誠人

4. 試料・情報の管理責任者

提供元機関

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

提供先機関

- ・ ソニー株式会社

5. 試料・情報の提供方法等について

＜試料＞個人が特定できないように加工した検体を追跡可能な輸送方法により、解析担当のソニー株式会社に送付します。

＜情報＞個人が特定できないように加工した情報を当院での解析に使用し、ソニー株式会社への提供はありません。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 講師 酒井 亮太

TEL：研究事務局 049-228-3574（直通）（平日 10 時～17 時）

メールアドレス：r_sakai “AT” saitama-med.ac.jp（“AT” を@に置き換えください）

○研究課題名：スペクトル型セルアナライザーにおけるヒト・イムノフェノタイピング多色解析パネルの構築

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 酒井亮太